

JAはが野から  
ランチョンマットと教材本の贈呈

3月  
27日



JAはが野の黒崎宣芳代表理事組合長が、ランチョンマットと教材本を贈呈するため教育長を訪問しました。

これは、県内の食料・農業の実態を正しく学び、理解を深めることを目的として行われているものです。小学1年生に「ランチョンマット」、3年生に教材本「とちぎの農業」、5年生に教材本「農業とわたしたちの暮らし」が贈呈されました。

LRT事業の工事施行認可取得

3月  
20日



▲役場正面に懸垂幕を掲揚

芳賀町と宇都宮市が進めているLRT(次世代型路面電車)の着工に必要な「工事施行認可」を取得しました。また同月22日(木)には「都市計画事業認可」を取得しました。今後は、平成34(2022)年3月の開業に向けて、用地取得や各種工事に取り組み、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を目指します。

(株)オートテックジャパンに  
感謝状

3月  
11日



栃木県総合文化センターで平成29年度とちぎ防災の日記念式典が行われ、日々の消防団活動に協力いただいている事業所として(株)オートテックジャパンが福田知事から感謝状を贈呈されました。同社では、従業員のうち5人が町消防団員として活動しており、従業員が団活動に積極的に参加できるよう配慮するなど消防防災体制の充実強化に大きく貢献しています。

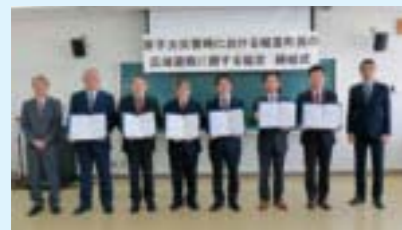
タウンレポート  
Spring



Town Report

城里町民の広域避難に関する  
協定書締結式

3月  
28日



▲調印した協定書を持つ6町の代表者(右から3番目が見目町長)

芳賀町役場を会場に、原子力災害時における城里町民の広域避難に関する協定締結式が行われました。これは、茨城県城里

町周辺で原子力災害が発生し同町民が県外などへの広域避難をする際に避難場所を提供するものです。避難元自治体の城里町と、避難受入先自治体の芳賀町、益子町、茂木町、市貝町、高根沢町の6町が調印しました。

祖母井分館チャレンジクラブ  
「プレーパークで外遊び」

3月  
24日



祖母井分館のチャレンジクラブで、生涯学習センターにあるプレーパークしもたかで外遊びをしました。穏やかな春の晴天の下、子ども

たちは学年を超えて、工作をしたりツリーハウスに登ったりと思い切り体を動かしました。また、耳うどんを手作りし、そのおいしさに何度もおかわりをする子もいました。

知っておきたい薬の話

3月  
15日



農業者トレーニングセンターで、ファミリー薬局の小林郁夫薬剤師を講師に迎え、「お薬講座」が開催されました。薬の飲み方や管理の仕方、

薬局とのつきあい方といった話がありました。町内にある薬局の身近な薬剤師ということもあり、受講者からはたくさんの質問が出され、薬についてより理解が深まったようです。

太陽のめぐみ教室・チャレンジクラブ合同  
「草餅づくり」

3月  
3日



農業者トレーニングセンターで、太陽のめぐみ教室とチャレンジクラブが合同で「草餅づくり」を行いました。子どもたちは昔ながらの臼と杵

で餅をつきました。重い杵を持ち上げるのに苦労したようですが、よもぎの良い香りに頬を緩めていました。あんこときな粉を絡めて、参加者全員でおいしくいただきました。

芳賀町惣誉を愛する会

3月  
28日



芳賀温泉ロマンの湯で、第12回芳賀町惣誉を愛する会が行われました。見目町長からは「町産の五百万石を

使っており、郷土の素晴らしいお酒として盛り立てていきたい」との話がありました。また、惣誉酒造(株)の河野社長からは、用意された惣誉の説明と蔵人の紹介があり、70人の参加者はそのおいしさに舌鼓を打っていました。

清田クラさん100歳敬老祝賀

3月  
26日



清田クラさん(与能)が100歳を迎え、見目町長がお祝いに訪問しました。清田さんは、毎月旅行に行くほどお元気で、今年に入ってから

飛行機に乗って沖縄や長崎まで足を伸ばしました。日常生活でも、家族と一緒に外食を楽しんだり温泉に体を温めに行ったりしているそうです。

水橋分館サタデースクール  
「マイお箸を作ろう&閉講式」

3月  
17日



最終回となる第10回サタデースクールでは、「エコハウス高根沢」から講師を迎え、箸作り工作教室を開催しました。子ども

たちは、ナイフや紙ヤスリを使い、木の感触を味わいながら県産のヒノキ材で丁寧にマイ箸を作りました。また、映像による学習では、箸の歴史と箸づかい、森林保護について学びました。その後の閉講式では、25人が修了証を受け取りました。

祖母井分館こども茶道教室

3月  
10日



1月から開講したこども茶道教室で学んだ成果を披露するため、生涯学習まつりで「添え

釜」が行われました。子どもたちは、初めは緊張からか動きにぎこちなさが感じられましたが、回数を重ねていくうちにスムーズに動けるようになりました。最後にはやり遂げた充実感で満面の笑顔を浮かべていました。